

# アジア・キリスト教・多元性

第 16 号

---

## 論文

- 松山高吉の日本組合基督教会からの離脱——海老名弾正との関係を中心に——  
..... 洪 伊 杓 (01)
- 日本キリスト教婦人矯風会と朝鮮基督教女子節制会の合併に関する一考察  
..... 神山 美奈子 (23)
- 義認と公共——金泰昌の「公共哲学」とマルティン・ルターの「信仰義認論」の対話——  
..... 金 珍 赫 (43)
- 解放前後の韓国におけるカール・バルトの受容と理解  
——日韓のキリスト教出版界の比較を中心に—— ..... 洪 承 杓 (59)
- 聖公会と松山高吉——『基督教週報』を中心に—— ..... 松 山 健 作 (83)
- 21世紀に開かれた邂逅の道——キリシタン時代の適応主義の先駆性——  
..... 高 橋 勝 幸 (101)
- 近世長崎町におけるイエズス会と托鉢修道会の対立について  
..... トロヌ・カルラ (117)
- ## 研究ノート
- 内村鑑三と聖書 ..... 芦 名 定 道 (131)
- 維新时期における反耶蘇論とナショナリズム——樋口龍温の護法論を中心に——  
..... 狭 間 芳 樹 (153)
- あとがき ..... 芦 名 定 道 (176)
- 

2018年3月

「アジア・キリスト教・多元性」研究会

研究会の活動内容（2017年度）

第160回・研究会（4月）

日 時：2017年4月14（金）15時～17時

場 所：NCC宗教研究所

- ・金 珍赫「義認と公共——金泰昌の「公共哲学」とマルティン・ルターの「信仰義認論」の対話」

第161回・研究会（5月）

日 時：2017年5月26日（金）15時～17時

場 所：NCC宗教研究所

- ・ジャーナル15号掲載論文の合評会（担当：芦名定道先生）
  - i) 洪 伊杓「松山高吉の伝統宗教理解——「神道・仏教・儒教」三教を中心に」
  - ii) 高橋勝幸「中動態の文法から見えてくるもの——十字架の聖ヨハネの「詩作」から」

第162回・研究会（6月）

日 時：2017年6月30（金曜）15時～17時

場 所：NCC宗教研究所

- ・金 香花「訳語論争解釈と等価理解——日中朝を合わせた場合」

第163回・研究会（8月）

日 時：2017年8月4日（金曜）15時～17時

場 所：NCC宗教研究所

- ・役重善洋「エルサレム世界宣教会議における帝国主義と植民地ナショナリズム」

第164回・研究会（10月）

日 時：2017年10月21日（土曜日）15時～17時

場 所：京都大学・キリスト教学研究室

- ・芦名定道「近代キリスト教とナショナリズム・愛国——日本を中心に」

第165回・研究会（11月）

日 時：2017年11月11日（土曜日）14時～17時

場 所：名古屋学院大学・名古屋キャンパス白鳥学舎（曙館607室）

- ・神山美奈子「日本キリスト教婦人矯風会と朝鮮節制会の合併に関する一考察」
- ・洪 承 杓「解放前後におけるカール・バルトの受容と変遷——日韓のキリスト教出版界を中心に」

第166回・研究会（12月）

日 時：2017年12月15日（金曜日）13時30分～15時30分

場 所：京都大学・キリスト教学研究室

- ・トロヌ、カルラ「近世長崎におけるイエズス会と托鉢修道会の対立」

第167回・研究会（1月）

日 時：2018年1月12日（金曜日）15時～17時

場 所：NCC宗教研究所

- ・洪 伊杓「松山高吉の日本基督組合教会からの離脱と海老名弾正との関係」

第168回・研究会（2月）

日 時：2018年2月23日（金曜日）13時～17時

場 所：NCC宗教研究所

- ・芦名定道「内村鑑三の聖書論」
- ・松山健作「聖公会と松山高吉——『基督教週報』を中心に」

第169回・研究会（3月）

日 時：2018年3月16日（金曜日）13時～17時

場 所：NCC宗教研究所

- ・高橋勝幸「二十一世紀に開かれた邂逅の道——キリシタン時代の適応主義の先駆性」
- ・狭間芳樹「明治仏教者の排耶論と聖書理解」
- ・2017年度総会

◆『アジア・キリスト教・多元性』第16号をお届けいたします。

本研究雑誌は、「アジア・キリスト教・多元性」研究会の研究活動報告論文集として刊行され、本研究会の前身となる旧「アジア・日本のキリスト教と宗教的多元性」研究会の研究ジャーナルから数えて通算して第16号を迎えました。今回も、執筆者の方々はもちろん、研究会での議論に参加いただいたメンバーの方々、特に、編集担当者に全面的な協力をいただくことによって、無事に刊行することができました。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

本研究論文集は創刊号より、電子ジャーナルをめざして刊行されてきましたが、第13号までは、必要部数に限り、冊子体での刊行も行ってきました。しかし、第14号からは、冊子体なしの完全な電子ジャーナルとして、研究会のホームページにおける公開のみということになりました（保存用冊子は別にして）。なお、2008年度からは、京都大学学術情報リポジトリにも、登録されておりますが、その点は変わりありません。

◆2017年度の研究会の活動の詳細については、本号の「研究会の活動内容（2017年度）」あるいは研究会のホームページに記載された通りですが、毎月ほぼ1回程度の研究発表会が開催され、活発な討論が行われました。特に、2017年度4月には、金珍赫教授（Torch Trinity Graduate University、組織神学）を迎え、ご講演をいただき、また、11月には、名古屋学院大学を会場にして、研究会を行いました。こうした企画は、これまでは行われなかったものですが、2018年度にも、さまざまな新しい試みを行いたいと考えています。

◆2018年3月16日に本研究会の総会が行われ、研究会の役員は、2017年度の継続ということで承認されました。また、研究会活動についても、毎月の研究会の実施と年度末の研究雑誌の刊行を中心にすることが確認され、合わせて、現在検討がなされつつある企画について報告がなされました。一つは、2018年度の日本宗教学会・学術大会（9月7日～9日。大谷大学）のパネル企画に応募することであり、もう一つは、本研究会の内に、特定のテーマについての研究グループを設置することです。前者については、すでに具体的な企画内容の相談が進みつつありますので、いずれ、研究会メンバーの皆さまにもご報告できるものと思います。企画の担当は、カルラ・トロヌさんと狭間芳樹さんです。後者については、この2年ほど研究会メンバーを中心に活動を行って来た、松山高吉に関わる共同研究と類似の研究グループを想定していますが、たとえば、キリシタン研究や明治キリスト教研究（無教会など）といったテーマが考えられます。2018年度も、これまで同様に、研究会活動への積極的な参加をお願いいたします。

◆研究会メンバーのこの1年の近況をご報告いたします。三野和恵さんと役重善洋さんは、それぞれ、2015年に京都大学大学院教育学研究科に、また2016年に京都大学大学院人間・環境学研究科に提出した博士論文に修正・加筆を加え、著書として刊行されました。三野和恵『文脈化するキリスト教の軌跡——イギリス宣教師と日本植民地下の台湾基督長老教会』（新教出版社、2017年）、役重善洋『近代日本の植民地主義とジェンタイル・シオニズム——内村鑑三・矢内原忠雄・中田重治におけるナショナリズムと世界認識』（インパクト出版社、2018年）。お二人のこれからの研究者としてのご活躍をお祈りいたします。

◆2018年4月の研究会では、例年通りこの第16号の合評会を行います。いくつかの論文を取りあげ議論を行う予定ですが、研究会メンバーのみなさまには、具体的な日時や内容について後日ご案内いたします。

◆今後とも、本研究会のために、各方面からのご協力を賜りますよう、よろしく、お願い申し上げます。

2018年3月  
研究会・研究活動担当  
芦名 定道

# ASIA CHRISTIANITY DIVERSITY

## XVI

### CONTENTS

#### Articles

On Matsuyama Takayoshi's secession from the Japanese Congregational Church and his relationship with Ebina Danjo ..... HONG YiPyo (01)

A Study on the Merger of *Kyofukai* and *Chosen* Woman's Christian Temperance Union ..... KAMIYAMA Minako (23)

Justification and the Public: With Special Attention to Martin Luther's Doctrine of Justification and Taechang Kim's Public Philosophy ..... KIM JinHyok (43)

The process of Karl Barth's Reception in Korean Christianity and Changing Perceptions before and after the Independence: Centering on Publishing Trends in Korea and Japan ..... HONG SeungPyo (59)

Anglican Church and Matsuyama Takayoshi: Focusing on *Kirisutokyo Shuho* ..... MATSUYAMA Kensaku (83)

The Way of Encounter Opened in the 21st Century: The Pioneering Nature of the Principle of Adaptation in *Kirishitan* Period ..... TAKAHASHI Katsuyuki (101)

The Rivalry between the Society of Jesus and the Mendicant Orders in Early Modern Nagasaki ..... TRONU Carla (117)

#### Notes

Uchimura Kanzo's View of the Bible ..... ASHINA Sadamichi (131)

Nationalism and the Anti-Christianity Movement in the Meiji Restoration: Focusing on the Defence of Buddhism and Higuchi Ryon's Thought ..... HAZAMA Yoshiki (153)

**Postscript** ..... ASHINA Sadamichi (176)

March, 2018

Study Group for Christianity and Diversity in Asia  
Kyoto Japan

ISSN 2432-1796